

パブリックコメント（市民意見）と市の考え方

（全79件）

	タイトル	分類	意見	市の考え方	基本計画に反映	反映箇所	事業化において参考
1	国際クルーズの乗客が楽しめる仕掛け	①施設の役割に関わること	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイド用の無線の充実性、休憩スペースの設置 ・海外の人でも食べやすい飲食店の隣接、地域のお店、スポットに関する情報源 ・大型施設の設置ということで、地域の関心はかなり高いと予想される。その意味で様々な役割を果たす必要がある。 ・清水は静岡に比べ、人口流出が著しいが、両方を行き来している私からすれば、大差がない。この施設がその問題の改善の糸口になることを望む。 	<p>海外の方々にとっても訪れやすい施設づくり、サービス提供ができるよう、今後の事業化において参考とさせていただきます。</p> <p>本施設は、地域に対しても、①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及などの役割を果たせるように進めていきます。</p>			○
2	施設全体について	①施設の役割に関わること	清水の新しいシンボルとなるような施設にしていただければと思います。	本施設の役割である①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及などを実現し、清水のシンボルとなるよう進めていきます。			○
3	施設が創る4つの大きな効果	①施設の役割に関わること	<p>考え方は概ねこれで良いと思います。</p> <p>清水区はこの海洋文化拠点を中心および起点として広がるような盛り上がりを見せてほしいです。中止となった火力発電所建設予定地の活用等もあわせて清水区を盛り上げていただきたい。</p> <p>また、葵区の歴史文化施設や、駿河区のイベント拠点のツインメッセ、県のグランシップなど、市全体を絡めて回遊性など検討していただきたいです。</p>	<p>本施設の役割である①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及などを実現し、清水のシンボルとなるよう進めていきます。</p>			○
4	施設の役割に関すること	①施設の役割に関わること	キッズスペースにて、玩具や図書などの遊び道具が備えられる構成とのことですので、図書の貸出しについて、ご検討いただけますと幸いです。	利用しやすい施設となるよう、いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
5	第6章「持続的な～」	①施設の役割に関わること	<p>来訪者にとって、目指すべき施設に、観光の集約的機能を持たせ「ハブ」となる情報発信（案内）を希望する。「水先案内役」</p> <p>※対象がコアな為に、清水区全般の観光（歴史等）案内機能を持たせ、対象を拡大する事により、リピート増を獲得し、維持等持続可能な中核施設の役割を望む。がんばって下さい！！</p>	<p>周辺の観光資源と連携して楽しんでいただける施設となるよう、いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○

6	海洋にかかわる多様な人・情報のつながり	①施設の役割に関わること	本施設を通じてJAMSTECとの連携をより強めてほしい。ちきゅうの一般公開や、寄港を積極的に取り込まれているので、本施設によってさらなるつながりを形成してほしい。 高知にあるコア研究所に負けない施設に期待しています。	本施設の活動により、海洋研究への関心が高まり、海洋研究機関と地域の連携が深まるよう取り組んでいきます。	○	P41	
7	国際海洋都市としてのブランド化	①施設の役割に関わること	清水には、全国有数の海洋の研究機関や学術機関があり、国際的な海洋都市に成長するポテンシャルを秘めているまちだということを知らない市民の人が多います。地域特有のブランドは、まず住んでいる人たちがそのブランドを自覚し、外に発信していくことで、外にも広がるものだと思います。海洋文化拠点施設ができることはそのブランドの醸成を促すことができると感じるので、是非作っていただきたいと思います。	本施設の活動を通じて、①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及という4つの効果を実現し、市民の皆様にも理解を深めていただけるよう取り組んでいきます。			○
8	施設が創る4つの大きな効果	①施設の役割に関わること	近年、国際クルーズ客船の寄港数は増加傾向にあると伺っており、市長が目指す「世界に輝く静岡」の実現に向けては、重要なファクターとなる施設だと思います。また、当該施設の建設は、近隣の区市町にとっても非常に関心が高く、ウォーターフロントの一体的な開発と合わせて経済的にも大きな効果が見込まれると考えます。港町清水のシンボルとなるような施設ができることを期待しています。	施設の役割としては、①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及という4つの効果を求めていきます。 地域の核となることを目指し、整備を推進します。			○
9	第1章「海洋文化拠点が清水海洋分野にもたらすものとは」	①施設の役割に関わること	1. 国際海洋都市としてのブランド化の具体的計画として、ここに来ることで、ここに来たことで、大人も子供も老若男女も、もう一度「海への夢」「海への希望」「海へのあこがれ」「海への魅力」を再認識してもらい、人生100年時代における「海」のかかわりを豊かな生活設計に生かす施設とするを追加	展示内容や展示のメッセージを工夫し、来訪された方々にご意見でいただいたような体験をしていただけるような施設を検討してまいります。			○

10	「国際海洋文化都市・清水」で始め、いずれ「国際海洋文化都市静岡市みなとまち清水」へ	①施設の役割に関わること	<p>本来そもそも政令指定都市レベルの「国際海洋文化都市」とは、例えば横浜、神戸、品川などをはじめ、京浜阪神中京中国九州に見られるような「中山間地から山の手を経て港湾につなげ、全体を回遊できることで、都市空間を活かすために行う、「都市全体における持続可能な発展のための開発メカニズム」及びその手法と政策目標」を指す用語で、港湾産業都市の発展型モデルであり、決してただ「海洋文化」の「国際都市」となれば達成できるものではありません。</p> <p>言わば、「拠点」と「拠点」を回遊導線をつなぎ、路線沿線地域から市全域に繁栄を広げ、全面的かつ高次元に持続可能な発展を目指すことで何とか政令指定都市の要件を満たし、人口を維持できるという現実を直視頂き、将来的には「国際海洋文化都市静岡市みなとまち清水」と位置づけていくよう啓蒙を始めていくべきとご意見申し上げます。そのスタートとなる海洋文化拠点施設整備に賛成致します。</p>	<p>本市は三大都市圏の港湾エリアとは規模や条件も異なりますが、物流や客船、海洋研究など、清水港の港湾機能を取り巻く環境の変化などが確実に起きつつある中で、それらをきつかけとして、ウォーターフロントから背後の都心市街地なども含めて、清水の都市再生につなげていけるようまちづくりを進めていく必要があると考えています。</p> <p>本施設もその一翼を担うことができるよう、進めていきます。</p>			○
11	事業継続性に対する不安	②施設のテーマに関わること	<p>海洋“文化”として総合ミュージアムは納得感があるが、事業の継続性のためには維持コストを捻出する必要があり、そのための集客機能に不安を感じる。</p> <p>レジャー施設として中途半端な感じを受け、ミュージアムとしても洗練さを感じられない。</p>	<p>本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。</p> <p>一方で、事業継続の視点を重視し、多くの方々に訪れ、楽しんでいただくことで、施設収入や継続性につながるよう、内容と経営のバランスを両立させる事業化の条件を検討していきます。</p>	○	P45	
12	2-1 清水でしか実現できない「海洋・地球に関する総合ミュージアム」のテーマ	②施設のテーマに関わること	<p>・(2-1) 第二章で提示されているテーマは、東海大学海洋科学博物館のコンセプトと重複しているように見える。同一コンセプトの施設が同じ区内に2つ存在する必要はなく、両者の違いや棲み分けについて、もう1歩踏み込んだ言及がほしい。</p>	<p>本施設は、清水港・駿河湾を拠点に広い海洋を見据えて約50年の歴史を有する東海大学海洋科学博物館のコンセプトと共通する部分も多くあります。</p> <p>今後、本事業化に際しては、東海大学海洋科学博物館とは、見せる場と研究の場といった役割分担を持たせた連携などについても検討してまいりたいと思います。</p>			○
13	日本一海洋資源を大切にすまち「しみず」	②施設のテーマに関わること	<p>・「海と人との関わり」をミュージアムを通じて内外に発信することは非常に大切であると賛同します。</p> <p>・ただ、この計画では環境保護の視点が弱い印象です。</p> <p>・この素晴らしい自然環境を守っていくための発信と独自の取組みをアピールすれば、もっと共感を呼ぶと考えます。</p> <p>・特に海洋資源の保護・育成に関する事業の創出(パイオ)をアピールする。</p>	<p>本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。</p> <p>その中では、海洋の謎、特色だけではなく、持続可能な地球環境の観点から、将来に向けた海洋環境保全などについても取り扱われると考えています。</p> <p>いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○

14	施設のテーマに関わること	②施設のテーマに関わること	<p>①桜エビミュージアムの設置 駿河湾の名物桜エビの施設を設けてはどうか？ 参考例として、富山県の滑川市は文化、観光拠点地域としてホテルイカミュージアムという世界にひとつしかない施設があります。</p> <p>②外国人観光客のためのまぐろづくし洋食店 マグロの解体ショーや富士山を見ながらバーベキューができるレストランがあると喜ばれるのではないのでしょうか。</p> <p>③時の栖とコラボしたイルミネーション 時の栖のイルミネーションが日帰りバス旅行が出るほどクオリティが高いのですが、時の栖の得意とするLEDイルミネーションとコラボして春夏秋冬で海と富士山をテーマにしたイルミネーションを行ってはどうでしょうか。 参考例として、浜松のフルーツパークがコラボして家族連れに来客数が増えました。</p> <p>④体験型の施設が少ないので、マリンスポーツの充実を図ったほうが良いのではないのでしょうか。ヨットセイリング、スキューバダイビング、マリッジット等</p> <p>⑤清水港から三保、日本平までのワンコインバスの配置</p>	<p>様々な方が訪れやすい施設づくり、サービス提供ができるよう、また、周辺の観光資源との連携、アクセスなど、ご意見を今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○
15	施設のテーマが堅過ぎ(科学サイドに寄り過ぎ)	②施設のテーマに関わること	<p>展示イメージ(案)を見ての印象でしかありませんが、「堅い・難しい」。皆様にもっと楽しんでいただく為には「科学サイド」も素晴らしいが、アトラクションや施設の随所に「美味しい物」や仕掛人等もう少し「ゆるい」というのでしょうか、親しみやすくりピーターを増やせる展開が必要かと思えます。 ※例。潜水艦の体験等、バンダイさんやタミヤさんに協力してもらおうとか。</p>	<p>本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。 そして、その際には、ご指摘いただいたような、海洋科学をよく知らない方々でも楽しみやすくなる工夫が重要と考えています。 いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○
16	施設のテーマに関わること	②施設のテーマに関わること	<p>清水ならではの地域資源を活かしながら、海や地球との関わりについて学べる良い施設と感じたが、昔から清水港周辺で海を身近に利用してきた人々の生活や産業の歴史展示(造船業や養殖業、水産業、缶詰産業)は、日本を代表する海洋文化都市を示す上で、ルーツや産業維持向上のために必要と感じた。ぜひ海洋関連教育機関も多いので、定着人口の拡大につながるため、多様な情報のつながりのテーマの中で、検討いただきたい。 (確認：東海大海洋博物館とフェルケール博物館とのすみ分け、ヒアリングはお願いします。)</p>	<p>本施設においては、海洋科学を中心としたコンテンツをベースとしつつも、その伝え方においては、人文・社会(身近な暮らしや文化)とのつながる複眼的な視点も求められると考えています。 そのために、周辺の関連する博物館等との連携なども図りながら、海とのかかわりを広く学べる場を目指していきます。</p>	○	P 45	

17	鑑賞	②施設のテーマに関わること	施設の最上部にプールを設け、イルカショーやペンギンショーを見せる。	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。 そうしたことから、現在の検討では、イルカ・ペンギン等のショーは想定していませんが、それらに負けない魅力的なコンテンツを提供できる施設を目指していきます。			○
18	基本計画とSDGsとの関連付け	②施設のテーマに関わること	H28年度に策定した基本構想をベースとした基本計画とのことなので、可能ならばの意見ですが、基本計画の中のキーワード「海洋文化・産業・科学」、「地球規模・科学」、「海洋・地球の統合的理解」、「つながる海と地球」等とSDGsとを関連付けしたらどうかと思いました。 (例えば、目標8経済成長と雇用、目標9インフラ、産業化、イノベーション、目標11持続可能な都市、目標14海洋資源)	本施設の活動を通じて、①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及という4つの効果を実現し、ていく中では、SDGsの理念普及と連携していく必要性も高くなると考えております。 施設の運営において参考とさせていただきます。			○
19	つながる海と地球 わたしたちと駿河湾、駿河湾で遊ぶ	②施設のテーマに関わること	駿河湾が世界的に見てもとても深く、神秘的な海であることは知っていても、実際にどうすごいかはわからないので、体験を通して楽しく学べる施設は良いと思います。	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。 いただいたご意見については今後の事業化において、参考とさせていただきます。			○
20	世界初のテーマを持つ施設が提供する多様な価値	②施設のテーマに関わること	8ページ第二章の部分です。「世界初のテーマ」とありますが、世界初の部分は何なのか、具体的に読み取れないのは勿体ないので表記に工夫を！！ (国際海洋文化都市を目指す、清水で世界初のテーマに取り組む海洋拠点施設となるインパクトをもっと強調しても良いと思います。)	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。 いただいたご意見については、今後の事業化の際に参考とさせていただきます。	○	P16	
21	全体的に。	②施設のテーマに関わること	ただの水族館機能だけでなく、研究、教育機関としての機能に非常に期待している。 また、当該施設がランドマークとなり周辺の倉庫群も含めた一体的なまちづくりも期待している。	本施設においては海洋研究・教育は、関係機関との連携も図りながら進めていきたいと考えています。 周辺開発との連携も進めていきます。	○	P40	
22	「人の営み」と海洋・地球の関わりについて	②施設のテーマに関わること	メインテーマが「自然科学」（海洋・地球）であるのは承知していますが、さりとて例えば展示後半部で「人の営み」に関する領域（資源、漁業、船舶、自然保護、都市と生産性の向上、防災、海洋ルール）も若干からめて頂いた方が、意義が深まると考えます。	本施設においては、海洋科学を中心としたコンテンツをベースとしつつも、その伝え方においては、人文・社会（身近な暮らしや文化）とのつながる複眼的な視点も求められと考えています。 そのために、周辺の関連する博物館等との連携なども図りながら、海とのかかわりを広く学べる場を目指していきます。			○
23	施設のテーマに関わること	②施設のテーマに関わること	東海大学、JAMSTECなどと連携しながら、「海洋」をテーマに事業を進めることは、清水区ならではの取り組みだと思うので、ぜひ進めてほしい。	本施設では、関係機関とも連携しながら、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。	○	P41	

24	第二章 世界初のテーマを持つ施設が提供する、多様な価値	②施設のテーマに関わること	夢を感じる計画と思います。 第2章に(1)静岡市民、(2)全世界の人々、と記載がありますが、その前に国内でのアピール、意見聴取も必要です。計画を知れば、静岡市民より、むしろ県外の人が面白い計画と思います。	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを県内はもとより、県外、国外まで発信し、オリジナリティのある展開を目指します。			○
25	施設のテーマに関わること	②施設のテーマに関わること	他の水族館とは違うミュージアムになってほしいです。	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。	○	P 16	
26	清水の再建	②施設のテーマに関わること	清水を国際海洋文化都市としてのブランド化を目指して、清水を盛り上げて下さい！	①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及などを実現し、清水のシンボルとなるよう進めていきます。			○
27	駿河湾の魅力について	②施設のテーマに関わること	駿河湾をテーマにするのはとてもおもしろいと思う。東海大学やJAMSTECとの連携で他には無いミュージアムを期待します。	本施設の特徴である「駿河湾」について、研究機関等と連携しながら、海底映像の活用など、新たな伝え方を検討していきます。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。	○	P 16	
28	市民に身近な「駿河湾」の魅力について	②施設のテーマに関わること	全国にあるような一般的な水族館ではなく、「駿河湾」にテーマをしばってやるのは、とても良いと思います。世界的な特色を一般人にも分かりやすく展示してほしい。	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができない「駿河湾」というテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。			○
29	「清水でしか実現できない」ミュージアムについて	②施設のテーマに関わること	「清水でしか実現できない」ミュージアムを期待します。そのためには、基本計画にも記載のある駿河湾をテーマにすることで実現できるとだと思いますので、もっと駿河湾を全面的に打ち出した基本計画にするのが良いと思います。	基本計画において、世界的にみても特色ある、深さ2,500mという日本一の深海「駿河湾」をテーマとすることで、清水でしか実現できない魅力的な施設となるよう検討していきます。 いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。	○	P 16	
30	活動・運営計画に関わること	③活動計画に関わること	駿河湾をテーマにすることなので、食文化も扱っても良いのではないかと思います。研究面が強めですが、商業面でも河岸の市や周辺商店会とも連携して良いものを創って下さい。	施設のコテンツや活動においては、サイエンスをベースに人文・社会(身近な暮らしや文化)へとつなげる、複眼的な視点が求められます。 また、「国際海洋文化都市」の実現においては、国際的な集客や周辺施設との連携が必要であると考えています。 賑わいを周辺に波及させる施設となることを期待しております。 いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。	○	P 45	
31	3-3 基本的な考え方をもとにした魅力的かつ持続的な活動	③活動計画に関わること	・ (3-3) P15 4行目に誤字あり(誤:焼酎 正:小中)	修正いたします。	○	P 13	

32	海洋・地球に関する総合ミュージアムについて	③活動計画に関わること	現在、清水区の賑わいが寂しいと思うことがあります。こういった取り組みによって、賑わいが出て、雇用の創出や消費活動が活発化することを期待します。	本施設の役割である①国際海洋文化都市としてのブランド化、②国際的な集客と賑わい創出、③海洋分野を拓く研究・教育促進、④海洋産業の振興と経済波及などを実現し、清水のシンボルとなるよう進めていきます。	○	P 45	
33	多言語対応を目標に据え、国際交流のきっかけから「つながり」へ	③活動計画に関わること	立地を考慮すれば、海外研究者はもちろん、海外からの修学旅行からクルーズ客船のインバウンドまでリピーターとなり得れば国際「海洋文化」都市の名に恥じない拠点形成ができますのでデジタル技術やビッグデータ活用が日進月歩に進化することを活用しきり、多言語対応を目標に加え国際交流につなげてほしい。	海外の方々にとっても訪れやすい施設づくり、サービス提供ができるよう、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
34	パピリオンを想起させる展示イメージが心配	④展示計画に関わること	展示イメージから想起したのは博覧会のパピリオン。期間限定なら「理想的」だが、常設でどこまでリピーターが確保できるようなコンテンツの更新を維持できるか心配になったので民間のプロにもご相談頂きたい。	本施設における展示や教育のコンテンツが、日々進化する海洋研究などに対して陳腐化しないよう、展示方法や更新方法についても、今後の事業化において留意して進めていきます。			○
35	展示計画に関わること	④展示計画に関わること	事業継続性には、安定的に入場者を確保する必要がある。そのためには、展示内容が定期的に更新されていく仕組みが必要だと思いますので、そのあたりの工夫があると良いです。	本施設における展示や教育のコンテンツが、日々進化する海洋研究などに対して陳腐化しないよう、展示方法や更新方法についても、今後の事業化において留意して進めていきます。			○
36	展示計画に関わること	④展示計画に関わること	企画展示について、内容だけに留まらず施設内の設えも企画毎変更出来るような整備として欲しいと思います。それがこの施設の強みや特異な部分になることを期待します。	本施設における展示や教育のコンテンツが、日々進化する海洋研究などに対して陳腐化しないよう、展示方法や更新方法についても、今後の事業化において留意して進めていきます。			○
37	展示展開のイメージ	④展示計画に関わること	・駿河湾の深海は世界的にも有名な貴重な資源であるのにも関わらず、「深海」という特徴からなかなか実際に目で見たり体験したりできないものだと思います。 ですので、それがミュージアムという形になって体験できるようになると集客に有効だと考えます。 ・ドリームプラザ横で行われているフェスの「マグロック」に毎年行くのですが、周辺にかなり振動や音が響きます。ミュージアムに研究施設を併設するとなると、繊細な機械や、貴重な生物などを扱うと思うので、防音や振動対策などできると良いですね！	本施設の展示の特色であり、これまで伝え方が難しかった「深海」についても、研究機関等と連携しながら、海底映像の活用など、新たな伝え方を検討していきます。 また、施設整備についても、地区の条件を踏まえ適切に建設を進めていきます。			○

38	展示物	④展示計画に関わる こと	<p>チラシに載っているような展示物は楽しそうでいいですね。るくるの体験型の展示物がとても良いし、子供はとても楽しんで遊びながら学びます。</p> <p>ただ、展示物が最先端の技術を使えば使うほど(VRやAIなど)、陳腐化するのも早くなってしまう。そうすると、展示物をどんどん更新するのにお金がかかってしまうので、工夫が必要だと思えます。</p> <p>時が経ってもいつまでも陳腐化しないのは、やっぱり昔ながらのスタンダードな展示物なのかなと思います。</p> <p>ずっと使えるようなオーソドックスな売りの水槽に、最新の技術をスパイス程度に加えて、ぜひ、バランスが良く長年愛されるミュージアムにしてほしいです。</p>	<p>展示計画については、「海洋・地球を総合的に理解する」ために、これまでにない新たな海洋教育の視点を導入した展示コンセプトを掲げ、このコンセプトを基本的な考え方として展示展開を計画していくこととしています。</p> <p>展示に用いる技術・手法についても、長く親しまれることや、将来の更新しやすさ等を考慮して選択していくよう検討していきます。</p> <p>いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>			○
39	清水ならではの展示物	④展示計画に関わる こと	<p>清水ならではのいったら「マグロ」ではないでしょうか！</p> <p>ちょっとマグロにはカワイソウですが、ミュージアムの大きな水槽でマグロを見れるし、ミュージアムを楽しんだ後は実際にマグロのお寿司を頂ける(食べる)ようになると、まさに「他にはない」施設になるのでは？</p> <p>寿司横丁や河岸の市へ案内してもいいですね。</p>	<p>展示計画については、「海洋・地球を総合的に理解する」ために、これまでにない新たな海洋教育の視点を導入した展示コンセプトを掲げ、このコンセプトを基本的な考え方として展示展開を計画していくこととしています。</p> <p>いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○
40	展示計画にかかわること	④展示計画に関わる こと	<p>子供が機械を操作するのが好きなので操作できる体感型の展示があると良いです。</p>	<p>こどもたちが関心を持ちやすい展示方法を検討していくことは重要と考えています。</p> <p>いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。</p>			○
41	展示展開のイメージについて	④展示計画に関わる こと	<p>駿河湾ならではの魚の展示などを行ってほしいです。</p> <p>どこにもあるものではなく、見せ方を工夫するなど、特徴のある施設にして下さい。清水港の歴史的な部分もふれてほしいです。</p> <p>清水の核として期待しています。</p>	<p>本施設においては「駿河湾」は重要なコンセプトと考えております。その姿が伝わることを意識して水族の展示も計画していく必要があると考えます。</p>			○

42	水棲生物の展示について	④展示計画に関わること	<p>【展示展開について】 他の施設との大きな差別化を図る必要がある。</p> <p>海をメインテーマに据えたアカデミックな展示物や企画は、(残念ながら)一般的な来場者、ファミリー層への継続的なアピール力はあまり強いとは言えません。したがって、集客の看板としての「水族館」の役割は大きいのではないのでしょうか？</p> <p>常に多くの来場者を期待するためには、①持続可能②ランニングコストを抑えること③常に更新されることが必要である。</p> <p>【具体的な案】 ★海上、海中散歩道 水中を見ることができる遊歩道の設置で、駿河湾、清水港そのものを水槽にする→潮の満ち引き、季節や天候によって変わる周遊魚の観察。さらには、海の濁りや浮遊するゴミも観察の対象となり、問題提起の機会となる。</p> <p>★魚や海洋生物ポスト 大型展示水槽には飼育できなくなったペットの熱帯魚や釣りで捕獲された魚、漁師から提供された死滅回遊魚などを收容し、展示する。→展示される品種の偏り、閉鎖された環境での共喰いや縄張り争いも、そのまま展示し、環境や人と自然のかかわりについての問題提起を行う。公共の取用施設の設置と問題提起により、清水エリアでの外来種違法放流ゼロを達成し、全国のモデルケースとする。</p>	<p>展示計画については、「海洋・地球を総合的に理解する」ために、これまでにない新たな海洋教育の視点を導入した展示コンセプトを掲げ、このコンセプトを基本的な考え方として展示展開を計画していくこととしています。</p> <p>また、持続可能な運営となるよう、運営コスト、展示の更新等も考慮した事業手法を検討していきます。</p> <p>いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○
43	駿河湾の生物を見る	④展示計画に関わること	<ol style="list-style-type: none"> 1. 回遊魚を誘導し、船の窓から見る。 2. 護岸にいる生物を見る(海草、カラス、貝、小魚) 3. 海底の生物を見る。(うに、岩がき、なまこ、海草、貝類、タカアシガニ) 4. かき棚を備える。 5. 夜光虫を養殖し暗室で見せる。 	<p>魅力的な展示内容、方法となるよう、いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○
44	展示について	④展示計画に関わること	<p>海洋産業の振興という面から地元の海に関する産業や商品、SDGsの「海の豊かさを守ろう」という目標の面から海の豊かさを守るための取組や取り組んでいる団体等について、紹介(展示、発表の機会、データベース等)があってもよいかと思います。</p>	<p>海の環境保全、持続可能な発展も本施設では重要なテーマと考えていますので、展示・活動についていただいたご意見は今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○

45	駿河湾深海の展示について	④展示計画に関わること	駿河湾の深海生物は多種多様であり、また未知の部分も多い。また、特殊な環境で生息するため、展示の方法をいろいろな方法で見せてもいいと思われる。 標本、模型に加え、スクリーン映像（3Dとかの動きの感じられるもの）等活用して未知の海洋の不思議を視覚化で見たいものです。	本施設の展示の特色であり、これまで伝え方が難しかった「深海」について、研究機関等と連携しながら、海底映像の活用など、新たな伝え方を検討していきます。 いただいたご意見は今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
46	総合ミュージアムの展示について	④展示計画に関わること	来訪者に長い時間ミュージアムに滞在していただくために、幻想的なクラゲ館を設けるのはいかがでしょうか。ソファを置いたり、音楽を流したりして、いやしの空間としてほしいです。	魅力的な施設となるよう、いただいた展示空間のご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
47	展示イメージに関すること	④展示計画に関わること	展示のイメージの中または周辺施設と協力して食体験ができる場所を盛り込むことで、清水での思い出や食育の視点を盛り込むことを期待したいです。 個人的には、そのほうが繰り返し利用しやすい施設になると思います。	本施設においては、海洋科学を中心としたコンテンツをベースとしつつも、その伝え方においては、身近な暮らしや文化とつながる複眼的な視点も求められると考えています。そのために、周辺の関連する博物館等との連携なども図りながら、海とのかかわりを広く学べる場を目指していきます。			○
48	富士山と駿河トラフ	④展示計画に関わること	富士山は日本一の山で雄大な景観ですが、海水がなければ、遙かに駿河湾の景観の方がダイナミックと考えられます。富士山の雄大さと駿河トラフの雄大さがリアルに実感できるような展示を期待します。	展示計画においては、駿河湾の姿を富士山や南アルプスと一体の環境として捉え、紹介する展示も設ける方針です。 ダイナミックさが伝わる展示となるよう、いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
49	「展示展開のイメージ」	④展示計画に関わること	教育的観点も踏まえたうえで、ドキドキワクワクを感じられる人の賑わいを生む施設を整備してください。	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。 そして、その際には、教育的観点を踏まえたうえで、海洋科学をよく知らない方々でも楽しみやすくなる工夫が重要と考えています。			○

50	体験プログラムづくり、展示コミュニケーション化（基本計画P10）について	④展示計画に関わること	デジタルよりもアナログの生身の体験、生きものとのふれあいができる展示を求めます。ハンズ・オン展示、タッチプール、ねらいが明確な体験プログラムによって・・・ただ、体験するだけではなく、体験から学び日常へつなげる展示へと導くことができます。そのためには、展示解説を行う常駐のインタープリター（解説員）がいると効果的です。旭山動物園の展示飼育園によるパフォーマンス（例アザラシ）のように生態も形態も折り混ぜた解説が楽しく学びになります。展示方法も旭山動物園、蒲郡市の竹島水族館のように、手書きでユーモアあふれた内容が人気です。展示はビジターの反応をみて、マメに更新できるとリピーターも楽しめます。いつ来ても新鮮さが感じられる展示を希望します。	ご指摘いただいたような体験等を通じ、また、解説員等の配置により、様々な方々が関心を持ちやすい展示方法を検討していくことは重要と考えています。魅力的な施設となるよう、いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
51	生物の飼育管理について	④展示計画に関わること	”ここに来ないと見られない”というめずらしい、貴重な生きものの展示があると嬉しいです。ベルーガみたいから島根（アラス）に行く、ジンベイザメみたいから海遊館へ行く、など目玉の生きものがいると会いに行く楽しみが増えます。駿河湾といえばサクラエビ、深海魚・・・？バンドウイルカもいますね。	本施設においては「駿河湾」は重要なコンセプトと考えております。その姿が伝わることを意識して水族の展示も計画していく必要があると考えます。			○
52	第4章施設のコアとなる展示にかかわる計画	④展示計画に関わること	「かんじる」（生命のゆりかご海、地球）とあるので、生命の起源のヒトの発生を説明するのが欲しい。小さな子供たちにもヒトが海から陸へと発生的歴史経過を説明することで、海の重要性（汚染防止など）を理解して、これからの海の保全（環境）に興味を持ってもらうことが大切です。	本施設では、海洋の謎、特色だけではなく、持続可能な地球環境の観点から、将来に向けた海洋環境保全などについても取り扱われると考えています。いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
53	展示計画について	④展示計画に関わること	展示する生物の何を見てほしいかを一つ一つ解説してくれるパネルなど、水族館が生き物への愛情を持っていることがわかる展示にしてほしいです。（竹島水族館など）	魅力的な展示内容、方法となるよう、いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
54	清水ならではの資源を展示に反映	④展示計画に関わること	市内の人にも市外から来た人にも清水（＝静岡）を知ってもらい、経済につながるようなものを展示したり、体験できるようなものなどいいなと思います。	本施設においては、海洋科学を中心としたコンテンツをベースとしつつも、その伝え方においては、人文・社会（身近な暮らしや文化）とのつながる複眼的な視点も求められると考えています。そのために、周辺の関連する博物館等との連携なども図りながら、海とのかかわりを広く学べる場を目指していきます。			○

55	展示計画に関わること	④展示計画に関わること	駿河湾の特性である深海については、特に大きな展示でみてみたいです。	本施設においては「駿河湾」は重要なコンセプトと考えております。その姿が伝わることを意識して展示も計画していく必要があると考えます。 いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
56	4-2 展示展開の基本方針	④展示計画に関わること	「るくる」「まある」など体験を通じて教育ができるような施設に魅力を感じている。駿河湾の特性を生かした今回の施設は、近いようでよく知らない駿河湾を子供と体験しながら学ぶことができ、とても良いと思う。	魅力的な展示内容、方法となるよう、いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
57	5-1 建設候補地と諸条件	⑤施設計画に関わること	<ul style="list-style-type: none"> ・ (5-1) ビジョンを示すための基本計画とはいえども、展示施設の建設ありきで作られているので、建設費・維持費などの概算や民間活力導入手法は示してほしい。また、施設整備やコンテンツ開発は民間が主体となってい、地域にお金が落ちる「稼げる施設」でなければ存在価値はないと思う。 ・ (5-1) 諸室の構成・連関について、ショップや飲食・キッズスペースなどの機能は、地域全体の賑わい創出を考慮して、施設内に入らなくても利用できるよう外に切り離すべき。 	<p>本施設の整備及び運営を推進するにあたり、民間活力の導入を検討することで、施設・地域にもたらす効果が最大になると共に、良質で持続的な施設運営が可能となる事業手法を構築することを目指します。</p> <p>今後別途実施している事業化可能性調査をもとに、事業性を考慮しながら、施設詳細を検討し、事業費等の公募条件を決定していきます。</p> <p>ショップ等の利用・配置等について、いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。</p>			○
58	施設計画に関わること	⑤施設計画に関わること	駿河湾と富士山を望むロケーションを活かした施設にしてほしい。 施設の高さは6号上屋よりも高くして、6号上屋より高い位置の海側にテラス席もあるようなカフェバーを作ったら、日中は水族館部分に来たファミリーが利用でき、夕方以降はお酒を楽しむ世代が利用できて良いと思う。 また屋上は、屋上緑化をして、海と緑に囲まれて静岡の地ビールと海の幸を味わえるビアガーデンを作ってほしい。	地区の特色を生かし、訪れる魅力の高い施設となるよう、いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
59	緑地化	⑤施設計画に関わること	現在、埠頭にはそこにいることがたのしめるような空間がないと思います。 5号上屋を外国人が喜ぶようなお店を入れ、博物館と繋いだらどうかと考えます。 人が楽しめる空間を作り、人が集まる工夫をすることが埠頭の発展に繋がると思います。	「国際海洋文化都市」の実現においては、国際的な集客や周辺施設との連携が必要であると考えています。 いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○

60	廃船を用いた海上水族館	⑤施設計画に関わること	耐震、耐津波上有利である。 1. 海上に浮いているから地震動の影響が少ない。 2. 浮遊物であるから船が上下に動き津波の影響を受けない。 3. 構造は船の中央部に高さ30m位の円形支柱を造り、これで支える。円柱の上にクレーンを付け、メンテナンスの時などに使う。	安全安心な施設にしていくことは重要と考えています。いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
61	アクセスについて	⑤施設計画に関わること	・車での来場者が多いと思いますので、バスを含め、駐車場は広く確保した方が良いと思います。 ・清水駅から歩くには少し遠いと思います。 ・清線バスも本数は少ないと思いますので、シャトルバス等の手段も考えた方が良くと思います。	アクセスしやすい施設となるよう、道路や交通の関係者、駐車場関係者と協議を図っていきたくと考えています。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。			○
62	p.22 (3) 来場者駐車場の確保について	⑤施設計画に関わること	本施設ができることで清水の街なかが活性化することを期待しています。一方で、立地場所が海に面しているため車の動線や逃げ道が限られており、交通への影響が懸念されますので特に周辺企業活動や地域住民生活へ配慮いただきながら検討していただければと存じます。	アクセスしやすい施設となるよう、道路や交通の関係者、駐車場関係者と協議を図っていきたくと考えています。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。			○
63	地球に優しい建物	⑤施設計画に関わること	地球温暖化による極端な気象現象、海水面の上昇、生態系への影響が私達の脅威になっています。 海洋文化拠点施設のような注目度の高い施設での「ZEB」などの地球に優しい取組を行い、市民の環境意識の向上し、再生可能エネルギーや省エネ建物の普及に貢献できる「地球に優しい建物」を期待します。	環境に配慮した施設となるよう努めていきます。いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
64	施設計画にかかわること	⑤施設計画に関わること	せっかく三保に海洋博物館があるので、ぜひ新しい施設と両方を楽しめるようになったらいいと思います。	今後、本事業化に際しては、東海大学海洋科学博物館とは、見せる場と研究の場といった役割分担を持たせた連携などについても検討してまいりたいと思います。	○	P 41	
65	施設計画に関わること (全体の開発イメージ)	⑤施設計画に関わること	家族連れで楽しめる施設が良いと思います。 ミュージアムだけでなく、飲食店や物販、公園機能を充実させて、終日滞在できるような一体的開発が良いのではないかと思います。(横浜のような) 近くにホテルもあれば望ましいかと思ひます。	魅力的な施設となるよう、いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○

66	静岡市海洋文化拠点施設基本計画（案）の第5章第2節（4）「利用者・運営者共に安全・快適に利用できる環境づくり」（P13）について	⑤施設計画に関わること	地震をはじめとする多様な災害時でも当施設を避難ビルとして機能させるためには、災害時の停電を考慮し、電源や熱源の多重化・自立化を図ることが重要と考えます。系統電力に頼らない分散型電源の設置を考案します。具体的には、コージェネレーションシステム（ガスエンジン、燃料電池）が一例として挙げられます。系統電力が途絶えたとしてもガスが止まっていなければ電力、熱の利用により空調・給湯が可能になります。なおエネルギーの分散化による防災性の強化については、「静岡市都市計画マスタープラン」に記載されております。（※静岡市都市計画マスタープラン 第4章4-5③「低炭素・資源循環型まちづくりの方針」（P64） ■低炭素まちづくりの推進・建築物の省エネルギー推進等の向上を促進し、地域の特色を活かした再生可能エネルギーの利用や燃料電池・蓄電池などの確保、未利用エネルギーの活用により、災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化に取り組みます。	環境や防災性にも配慮した施設となるよう努めていきます。いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
67	インスタ映えする撮影可能スペースを随所に設置	⑤施設計画に関わること	交流エリアを中心に撮影可能スペースでの更新可能な「インスタ映えする」コンテンツを、スタッフから「活動のつながり」関係者までのアイデアを活用し、「海のアート」から「仕かけ」まで「インスタ映え」撮影スポットを随所に設置できる仕組みを専門家と考えて頂きたい。きっと拡散でき、リピーターにつながる。	魅力的な施設となるよう、いただいたご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○
68	日の出再開発の促進	⑤施設計画に関わること	日の出地区再開発の促進に何が必要か調査分析を行い、政策に反映してほしい。	日の出地区の開発については、地域の官民関係者との検討の参考とさせていただきます。			○
69	施設計画・運営計画について	⑤施設計画に関わること	研究施設や学習施設を兼ねた水族館をこれまで利用したことがありません。学びながら体験もできるような施設であれば、市外の人や外国人に対して、この施設が静岡市の大きなアピールポイントになると思った。	体験等を通じ、様々な方々が関心を持ちやすい展示方法を検討してまいります			○
70	ミュージアムに対する意見	⑤施設計画に関わること	深海生物をみながら食事ができるレストランがあったらいいと思います。理由は、深海生物は奥深いから、お昼ご飯が楽しく食べられそうだからです。	魅力的な施設となるよう、いただいた施設計画のご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○

71	収支の計画	⑥運営計画に関わること	売上計画、運営費、黒字化のメド等の収支計画の公表（宣言）をして欲しい。	基本計画44ページに記載のあるとおり、良質で持続的な施設運営を目指すべく、民間活力の導入を検討することで、施設・地域にもたらす効果が最大になる事業手法を選定していきます。 今後事業性を考慮しながら、施設詳細を検討し、事業費等の公募条件を決定していきます。	○	P45	
72	収益性の確保について	⑥運営計画に関わること	施設の維持管理にかかる費用はどのくらいで、入館料などの収入をどのくらいと見込んでいますか？ 周辺の地域に波及する効果も踏まえて、客観的に、市にとって収益性があると言える施設になってほしいです	基本計画44ページに記載のあるとおり、良質で持続的な施設運営を目指すべく、民間活力の導入を検討することで、施設・地域にもたらす効果が最大になる事業手法を選定していきます。 今後事業性を考慮しながら、施設詳細を検討し、事業費等の公募条件を決定していきます。	○	P45	
73	リピーターを増やす施策が「事業継続性」と収益を確保する	⑥運営計画に関わること	収益が見こめれば事業者は応募できる。よって公益性に対する自由度の加減は臨機応変にできるよう静岡市・東海大学・JAMSTEC三者連携スキームの関係者にはお願いしたい。鍵はリピーターを増やす施策と考えます。	基本計画44ページに記載のあるとおり、良質で持続的な施設運営を目指すべく、民間活力の導入を検討することで、施設・地域にもたらす効果が最大になる事業手法を選定していきます。 今後事業性を考慮しながら、施設詳細を検討し、事業費等の公募条件を決定していきます。	○	P45	
74	施設計画・運営計画について	⑥運営計画に関わること	東海大学やJAMSTECとの産学官の連携や民間との連携など、外部の創意工夫やノウハウを最大限に活用して、これまでにない魅力ある施設を造ってほしいと思った。	研究機関等と連携しながら、魅力的な展示内容、方法となるよう、いただいたご意見については今後の事業化において参考とさせていただきます。	○	P41	
75	BTO方式について	⑥運営計画に関わること	この基本計画のどこを読めばBTO方式を取る理由が分かるんですか？どこにも記載がないのですが。 BTO方式を取る根拠になる、建設費や想定の入館料収入などの資金計画が同時に出ていないとおかしいです。 こんな杜撰な計画で運営する事業者はいないですし、ぎゃくに事業者としては不安しかないと 思います。 こんな意見募集をやっていると知ったのもつい最近の新聞ですし、意見募集できるほどの計画ができている気配もなかった気がします。 本当に民間に作ってほしいのなら、もっと周知して広く意見を聞くべきではないですか？	事業手法については、別途実施しているPPP導入可能性調査をもとに、事業性を考慮しながら、施設詳細を検討し、事業費等の公募条件を検討しています。 PFI事業BTO方式の導入については、現段階で最も有力と考えている手法であり、今後、VFM等を含め、最も効果的の事業手法を選択してまいります。			○
76	運営計画に関わること	⑥運営計画に関わること	周辺施設との連携して、イベントが開催されたりすると、おもしろいエリアになると思います。	魅力的な施設となるよう、いただいた周辺施設との連携のご意見については、今後の事業化において参考とさせていただきます。			○

77	その他意見	⑦その他	新しいウォーターフロント発展のきっかけとなる施設ですので、類似施設（沼津など）と同じレベルにならないように、拠点施設としてのミッションがクリア出来る施設となってくれることを期待しています。	本施設では、清水ならではの、このミュージアムでしか扱うことができないようなテーマを発信し、オリジナリティのある展開を目指します。 いただいたご意見については今後の参考とさせていただきます。			○
78	日の出地区開発イメージ	⑦その他	交通動線に新交通システムとありますが、どのようなアクセス方法の充実が想定されていますか？	本施設は、周辺施設と連携を図りながら、情報収集・発信を行います。 「新交通システム」については、「清水都心ウォーターフロント開発基本方針」の記載を引用・踏襲したのですが、今後は、バスの高度化や、全国で検討されているグリーンスマートモビリティなどの検討なども必要になると思われます。			○
79	その他	⑦その他	2019.3/8～10、伊東市太田区立伊豆高原学園にて第14回”海辺の環境教育フォーラム2019in伊豆”というフォーラムがあります。全国の水族館、海の環境教育、研究者等が集まります。福島アクアマリンから移動水族館が来ます。新しい海洋文化拠点にも移動水族館があり、オクシズ、山梨へ出張いいと思います。海洋文化拠点施設の参考にもなると思いますので、よろしければHPをご覧ください。 (上記フォーラム名でHP検索すると専用HPが出ます) 既にご存知でしたら申し訳ございません。最終日、一般公開もあります。	いただいた情報を参考にさせていただきます。			○